

# 各常任委員会 報告

各常任委員会は、それぞれ付託された議案の審査等を行い、主に次のような意見・要望が述べられました。

## 企画経済委員会

委員長 古里 貞義

十二月十八日開催

- (一) 女性五十人委員会については、委員の育成が促進されるよう検討されたい。
- (二) 自治会の統廃合については、その必要性を十分検討し、適正に指導されたい。
- (三) 薩摩川内ブランドの構築に当たっては、甌島の観光受入体制についても具体的に計画されたい。
- (四) 薩摩川内ブランド推進会議委員については、女性委員の参画を検討されたい。
- (五) 広報紙については、食育の日にあわせ、レシピなどを掲載し記事の充実を図り、分かりにくい言葉については、文字の解説を入れるなど、理解しやすいように工夫されたい。

夫されたい。  
(六) 水稲、園芸重点7品目の販売ルートへの拡充に努められたい。

## 市民福祉委員会

委員長 福元 光一

十二月十七日開催

- (一) 平成二十年度薩摩川内市一般会計補正予算のうち本委員会付託分
  - ① 木場茶屋最終処分場は、景観にも配慮した維持管理に努められたい。
  - ② がん検診の受診率の向上にますます努力されたい。
  - ③ オストメイト対応トイレ設備の設置については、今後、利用者の声を聞くなどし、更なる対応を検討されたい。
  - ④ 乳児保育促進事業を始めとする保育事業については、各保育園と連携を取りながら、更に推進されたい。
  - ⑤ 病児・病後児保育事業について、実施施設が増えるよう努力されたい。

## 建設水道委員会

委員長 石野田 浩

十二月十七日開催

- (一) 薩摩川内市営住宅等の指定管理者の指定について
 

公有財産である市営住宅を良好な資産として維持できるよう、その管理に努められたい旨の意見が述べられた。
- (二) 所管事務調査
  - ① 上水道の石綿管更新事業については、使用者の不安解消のためにも可能な限り早急に対応されたい。
  - ② 未給水区域の生活用水確保について、渇水時の対策や地域振興の観点からも、自家用水道施設への補助制度も含め検討されたい。
  - ③ 上甌島の水源開発調査に当たっては、環境に十分配慮するとともに、経済的で安定的な水源確保策の検討に努められたい。
  - ④ 市営公衆浴場の運営・整備に当たっては、民営温泉施設を含めた観光振興策を検討するなど総合的な視点に立って、全庁的に連携を図り進められたい。
  - ⑤ 川内地域の下水道整備については、今後も引き続き、普及率向上に努められたい。
  - ⑥ 整備要望の高い県道のうち未着手のものについては、道路管理者である県に対し、早急に整備されるよう、更に要望するなど努力されたい。
  - ⑦ 歩道設置の要望がある県道の整備については、道路管理者である県に対しても、要望が考慮されたものとなるよう、市として要望されたい。
  - ⑧ 建設事業等の公共工事の発注は、工事関係者のためだけでなく、景気浮揚にもつながるので、予算確保に努められたい。
  - ⑨ 入来温泉場地区土地区画整理事業の推進に当たり、温泉施設等の整備については、観光振興・まちづくりの観点からも、地元の要望について協議し、また、関係課と連携を密にし、積極的に進められたい。

## 総務文教委員会

委員長 瀬尾 和敬

十二月十八日開催

- (一) 平成二十年度薩摩川内市一般会計補正予算のうち本委員会付託分
 

学校図書館システムの整備に当たっては、中央図書館のシステムとのリンクにより、効果的なシステムの運用が図られるよう努められたい。